

### 【受賞者紹介】

加藤 平次（かとう へいじ）

30年以上の長きに亘り、各種スキー競技会の役員（出発係長、気象主任、関門員等）として尽力している。小樽市で開催された全道中学、全道高校、北海道スキー選手権、国体、全日本マスターズ等の競技役員として活躍した。また、歩くスキー教室、歩くスキーと雪あそびの集い、ミニコンバインド体験競技会等において、その普及啓発に大きく貢献している。

加藤 義正（かとう よしまさ）

20年以上の長きに亘り、各種スキー競技会の役員（コース係長、会場主任、コース係等）として尽力している。小樽市で開催された全道中学、全道高校、北海道スキー選手権、国体、全日本マスターズ等の競技役員として活躍した。また、歩くスキー教室、歩くスキーと雪あそびの集い、ミニコンバインド体験競技会等において、その普及啓発に大きく貢献している。

木村 謙（きむら ゆずる）

国鉄北海道スキー部所属時代の昭和58年に、全日本選手権や国体で優勝するなど、国内で8勝。同年から4年間、日本代表としてワールドカップに出場し世界で活躍し、昭和59年には北海道スポーツ賞を受賞するなど輝かしい現役時代を飾った。引退後は、全日本A級飛型審判員や競技委員長など主要役員として各大会を支えている。現在は小樽スキー連盟理事、また小樽ジャンプ少年団の団長を務め、若手選手の育成に尽力している。

松本 徹（まつもと とおる）

北海道スキー連盟技術員、全日本スキー連盟技術員として活躍され、その間、北海道スキー連盟教育本部企画部長、北海道スキー連盟教育本部理事、北海道スキー連盟教育本部長として活躍されている。小樽スキー連盟においても、小樽スキー指導員会事務局、小樽スキー連盟教育部長、小樽スキー連盟副会長として活躍され、更に、小樽スキー連盟百周年事業において、多大なる貢献をいただいた。広くスキー界の発展に寄与されている。

### 【感謝状授与】大成興業（たいせいこうぎょう）株式会社

代表取締役 佐藤 公一（さとう こういち）様

小樽からまつ公園運動場クロスカントリースキーコース整備に使用してきたスノーモービル廃車の話題を聞き、全国大会の開催に合わせスノーモービル新車（YAMAHA、1100cc）を寄贈（管轄は小樽市教育委員会）していただきました。

「小学生アルペンに出場した時の、楽しい記憶は今も鮮明に残っています。その恩返しとして、小樽スキー発展のため尽力されている皆様を、いささかなりともお助けできるならば、嬉しく思います」とのお言葉をお寄せくださいました。

【各表彰等受賞者の御紹介】

全日本スキー連盟競技スキー功労者 工藤 裕 様

三十年以上に亘り、小樽スキー連盟主管の各大会はもとより、国体等の競技役員としても大きく貢献した。北照高等学校スキー部監督を長らく務め、同部を全国優勝に導くとともに、五輪選手をはじめとする多くの国際的選手を指導育成してきた。

北海道スキー連盟功労者表彰 青山 勝 様

指導員資格を取得以来、永年に亘り幅広く指導活動を展開している。道連理事、同教育部副部長等を務め、道連活性化に尽力。平成23年、本連盟会長に就任。百周年記念事業、第38回全日本マスターズスキー選手権小樽大会などを成功に導いた。

小樽体育協会体育功労者賞 渡邊 幹夫 様

三十年以上に亘り、小樽スキー連盟主管大会競技役員、全道アルペン役員として企画運営に活躍してきた。本連盟主催として最も長い歴史の「小樽小学生アルペンスキー大会」では事務局長として尽力。普及啓発・選手育成に大きく貢献している。

【メッセージ】

北照高等学校スキー部OB OG会 会長 工藤 哲史（くどう てつなり）様

この度は、木村謙に名誉有る賞を賜り心より感謝申し上げます。

受賞式に出席したかったのですが、どうしても調整がつかない打ち合わせが入り、大変申し訳ございませんが、欠席させていただきます。

この度受賞されました皆様には誠におめでとうございます。これからも日本のスキー界の発展のために、ご尽力されることをご期待申し上げます。

小樽スキー連盟顧問 池田 利勝様

体調がすぐれないため、失礼いたします。

受賞者の方をお祝い申し上げますとともに、皆様方にくれぐれもよろしくお伝えください。